

香港の「政府総合庁舎本部ビル」向けに エレベータ、エスカレータ計80台を超える受注！ 官庁プロジェクトとして過去最大規模

フジテック株式会社(本社:滋賀県彦根市 社長:内山高一)の東アジアでのグローバル中核拠点「フジテック・ホンコン」(所在地:ホンコン コンノート・ロード・ウエスト、社長:関口岩太郎)は、このたび香港島中心部に建設される「政府総合庁舎本部ビル」向けに、エレベータ58台、エスカレータ25台、合計83台を大量一括受注しました。受注総額は約15億円で、官庁プロジェクトとして過去最大規模となります。

「政府総合庁舎本部ビル」は、香港島側ビジネス街に隣接する超一等地に建設されるものです。

4.2ヘクタールの敷地には、“オープンドア”(開かれた行政、多文化受け入れ)を表現したアーチ型の総合庁舎を始め、立法会議事堂や行政執行最高責任者である行政長官のオフィス棟が建設され、香港の新たなシンボルとなります。



「政府総合庁舎本部ビル」完成予想図

このほど同ビル向けに、分速360mの超高速機種と、フジテックが世界で初めて開発した新駆動方式「タロンドライブ」の機種を含むエレベータ58台と、エスカレータ25台、計83台を大量一括受注しました。

「政府総合庁舎本部ビル」の完成は、2011年5月の予定です。

フジテック・ホンコンは、フジテック・グループの中で最初の拠点として、1964年に設立し、東アジアの中核拠点としての役割を担ってきました。

東アジアの拠点としては、中国国内の華昇フジテックと上海華昇フジテックのほか、フジテック・台湾、フジテック・コリアがあり、緊密な連携体制を確立しています。

2008年9月22日

「政府総合庁舎本部ビル」プロジェクト概要

「政府総合庁舎本部ビル」は、香港島側ビジネス街隣接地に残された最後の超一等地で、イギリス海軍基地の跡地に建設されるものです。ビクトリア湾を挟んだ対岸の九龍側からも、その庁舎群全景を一望できる最高の立地にあります。

4.2ヘクタールの広大な開発敷地に、“オープンドア”（開かれた行政、多文化受け入れ）を表現する象徴的な建物が建設されるとあって、香港市民の間でも大きな話題を集めています。



ビクトリア湾を挟んだ対岸の九龍側から見た「政府総合庁舎本部ビル」完成予想図

オーナー: Architectural Services Department [ASD] (政府機関)

設計: ROCCO Design Architects Ltd.

施工: Gammon - Hip Hing Joint Venture

建物階数: 地上27階 / 地下2階

昇降機: エレベータ58台、エスカレータ25台、計83台

完成: 2011年5月予定

フジテック・ホンコンのこれまでの主要な納入実績

【官庁】「香港政庁舎」(エレベータ・エスカレータ計40台)、「最高裁判所」(エレベータ20台)、香港政庁ビル「レベニュー・タワー」(エレベータ・エスカレータ計43台)、「香港中央図書館」(エレベータ・エスカレータ計31台)など

【民間】「ザ・ペニンシュラ香港」(エレベータ19台)、「インターナショナル・ファイナンスセンター」(エレベータ・エスカレータ計26台)、「シティバンク・プラザ」(エレベータ・エスカレータ計56台)、「ハーバービュー・プレース」(エレベータ・エスカレータ計30台)など

本件のお問い合わせ先: フジテック株式会社

広報室 ビッグウイング TEL: 0749 30 6501 FAX: 0749 30 7055

東京本社 TEL: 03 4330 8233 FAX: 03 4330 8220

<http://www.fujitec.co.jp>

以上